



ふるさと納税の先進地を調査

ふるさと納税制度の活用 に 創意工夫を

委員長 笠原 則 孝 委員 齊藤 嘉和
副委員長 備前島久仁子 川端 宏和
石川 眞 男

所管事務調査日：平成28年5月13日

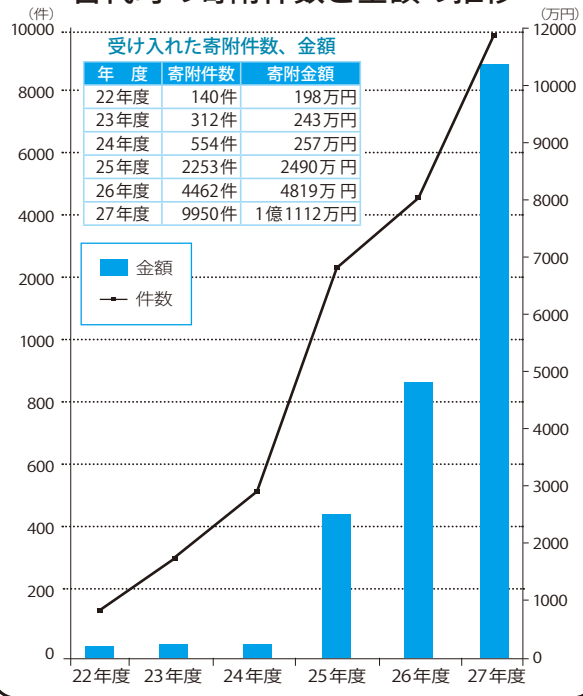


特色ある取り組みを学ぶ

●宮代町のふるさと納税制度
宮代町は、ふるさと納税制度に先駆的に取り組んでおり、ふるさと納税タイプアップ事業による特産品（謝礼品）の魅力アップやPR、リーダーの確保により、寄附金額が急増している。また、クラウドファンディングを活用し、個々の事業を直接応援するための寄附も実施しており、寄附をした市民はその活動に関心を持ち、活動内容の報告を受けてさらに共感して寄附をするというサイクルが生まれている。

●主な取り組みと課題
〈取り組み〉
・市民活動団体の活動に寄附で応援
・寄附金の用途を分かりやすく公表
・実施した事業（活動）の成果報告
・地元業者とタイアップした特産品
・専門サイトと連携したクラウドファンディング
〈課題〉
・ふるさと納税管理システムの導入
・一過性ではなく継続性
・地元生産者の意欲向上
・自治体間競争を勝ち抜き創造力

宮代町の寄附件数と金額の推移



まとめ

玉村町においても、寄附金の用途については、分かりやすい形で公表することが必要であると思われる。また町内事業者を活用した謝礼品の提供や個別の施策・事業を応援する寄附など、創意工夫をすることによって、寄附金額の増加や町内産業の活性化につながることを期待したい。



寄附金が活用されている「新しい村」